

## 第1回 三豊市就学前教育・保育検討委員会 会議録

日 時	令和6年5月31日(金) 午後1時30分～午後3時
場 所	三豊市危機管理センター201・202会議室
出席者	<p>【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】8名          松井 剛太、田井 清、白川 久美子、野田 和也、松岡 瑞穂、山本 明代、白川 朋果、藤根 直身(敬称略・順不同)</p> <p>【事務局関係職員】7名          健康福祉部 田中部長          保育幼稚園課 橋村課長、森GL、富田、石川          教育委員会事務局 開口部長          学校教育課 内田課長</p>
欠席者	<p>【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】2名          常田 美穂、藤田 佐枝</p>
傍聴者	0名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 副市長あいさつ</li> <li>2. 就学前教育・保育検討委員会の趣旨説明について</li> <li>3. 委員長・副委員長選任</li> <li>4. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 三豊市の計画進捗報告等について</li> <li>(2) 就学前教育・保育施設の規模と配置のあり方について</li> </ol> </li> <li>5. その他</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
<b>会 議 概 要</b>	
開 会	
事務局	<p>本日はご多忙の中、第1回三豊市就学前教育・保育検討委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今より会議を始めさせていただきます。出席委員数の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、委員10名に対して8名のご出席をいただいております。三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立することを報告させていただきます。</p> <p>本日はご多忙の中、第1回三豊市就学前教育・保育検討委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今より会議を始めさせていただきます。会に先立ち、委員のご紹介をいたします。</p> <p>&lt;委員紹介&gt;</p> <p>なお、委嘱状につきましては、お席にお配りさせて頂いておりますので、ご確認いただきますよう、お願いいたします。</p>

1. 副市長あいさつ	
綾副市長	<p>&lt;あいさつ&gt;</p> <p>山下市長が他の公務により出席できませんので代わりにご挨拶申し上げます。</p> <p>この度は「三豊市就学前教育・保育検討委員会」の委員を快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。今回ご審議いただく「三豊市就学前教育・保育総合計画」は令和元年度に10年間の計画として策定したものであり、その中間年として見直しをおこなうものであります。近年、急速な少子化が進む中、共働き世帯の増加や就労環境の多様化などにより、こどもや子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。国においても令和5年にこども家庭庁を設置し、「こども大綱」を策定するとともに、「幼児教育・保育の無償化」や「保育士の配置基準の見直し」など、こどもがまんなかの社会を実現するために様々な政策に取り組んでおります。</p> <p>三豊市においても市立幼稚園の就園児童の減少や施設の老朽化など、就学前教育・保育施設を取り巻く課題への対応が迫られています。今後の社会情勢や保育ニーズに対応したより良い教育・保育の質と量を確保することが必要であります。委員の皆様には、それぞれの立場から、三豊市の将来を担うこどもたちにとって、どのような教育・保育の体制が望ましいのか、今後目指していくべき姿、そのための具体的な方策について、忌憚のないご意見等をいただきたいと思います。</p> <p>最後になりますけれども、委員のみなさまの益々のご活躍、さらには今後のご協力をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。</p>
2. 事務局自己紹介・議事録作成	
事務局	<p>続きまして、事務局の自己紹介を行います。</p> <p>&lt;事務局自己紹介&gt;</p>
3. 委員長・副委員長の選任	
事務局	<p>&lt;三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第5条の規定により、委員の互選により委員長及び副委員長の選任&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長 松井 剛太 委員</li> <li>・副委員長 常田 美穂 委員</li> </ul> <p>&lt;委員長席へ移動&gt;</p>
事務局	<p>では、委員長より、ご挨拶を頂けたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>&lt;委員長あいさつ&gt;</p> <p>委員長を拝命しました松井です。よろしくお願いいたします。前回委員長を務めさせていただきましたが、だいぶ状況も変わり、少子化していくなかで、三豊市全体がどう向かうか、国の動向とどうあわせていくか、広く議論をしていけたらと思います。それぞれのお立場がありますが、何も影響することなくそれぞれのお立場の中でのご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>

4. 就学前教育・保育検討委員会の趣旨説明等について	
事務局	議事に入る前に、事務局から「本委員会の趣旨等について」、ご説明させていただきます。
事務局	<p>&lt;三豊市就学前教育・保育検討委員会の趣旨説明&gt;</p> <p>【資料①】により、以下を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育・保育総合計画策定後の国の流れ</li> <li>・第2次総合計画後期基本計画、サポートプランの改訂（子ども・子育て会議との関連、教育・保育の量の見込など）</li> <li>・根拠条例</li> </ul>
5. 議事	
(1) 三豊市の計画進捗報告等について	
事務局	では、議事に入らせていただきます。議事につきましては、三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第5条の規定により、「委員長が会務を総理すること」とされていますので、ここからの進行は、松井委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。
委員長	議事に入らせていただきます。まず 1.三豊市の計画進捗報告等、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>&lt;三豊市の計画進捗報告等&gt;</p> <p>【資料②】により、以下を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育・保育の体制について説明（公立幼稚園・公立保育所・民間保育施設の開設など）</li> <li>・出生数、幼稚園、保育施設の利用者数の推移</li> </ul>
委員長	ただいま事務局から、三豊市の就学前教育・保育の現状に関する説明がありましたが、その他全般的なことについてでもかまいませんので、ご質問、ご意見等はございませんか。
A 委員	<p>国の配置基準について令和6年度から適用になった。令和8年度からはこども誰でも通園制度が制度化されるが、今の保育の現状をしっかりとみてもらって配置基準を決めてもらいたい。</p> <p>本日の新聞で待機児童についての記事があるが、香川県では3名、高松市ででている。年度途中の入所ができなかったというのを耳にする。先生が足りないから入所できないのか、面積が足りないから入所できないのか。配置基準を適用していくのなら、職員の採用をもっと増やしていったほうがよいと思う。</p> <p>私は、小規模保育所だが、途中入所は必ずある。相談を受けても、入所を決める</p>

	<p>のは三豊市だから、相談があった際にはどうぞといえないのが現状である。私立が最初から満員なら運営していきやすい。公立の現状について、昨年度の途中入所の現状について、教えていただきたい。</p> <p>あわせて、里帰り出産のときに、三野保育所に空きがあったから受け入れてくれたが、保育所の空きがなく、一時預かりで私のところにきた方がいた。ひと月52,000円かかるが、保育所で受け入れてれば3万円程度だったはず。一時預かりの現状を知っていただきたい。保育所の配置基準を改革するならそこも知ってほしい。</p> <p>また、空きがある施設とそうでない施設との差がありすぎる。それは三豊市が決めている。希望で決めているが、詫間の方が財田が空いているからといってあっせんしてもいけない場合は待機児童とならない。その場合はあきらめている。</p> <p>保育所の人員をしぼっていくのか、こどもの数が減っていくのに公立はいっぱいなのに私立は空いているということがないようにしてもらいたい。私立を先に満室にして公立を後からという風に高松などはしてきた。三豊は私立がなかったから公設がよいという考えがおおい。希望していないからそこは空いているんだというのは認識を改めていただきたい。</p>
事務局	<p>年度途中の入所の関係について、0歳児などは8ヶ月以降といったこともあるが、空き待ちについては三豊市でも存在する。そのなかで、年齢によってどれだけかといったことは後日ご報告させていただく。</p> <p>採用については、保育士などの採用人数はここ3か年で、令和4年で6名、令和5年で11名、令和6年で4名の採用状況となっている。ひとつには退職補充というところと定年延長の関係から採用については60歳を超えた職員との労働も考えながら職員採用を計画している。待機児童との問題もあるので職員の確保については検討していく</p>
委員長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
B 委員	<p>幼稚園の現状についてお話しをしたい。幼稚園の入園者数は資料にもある通り減少している。原因としては説明のあったように保育ニーズが多く、保育所からあえて幼稚園へという流れがなくなってきた。幼稚園の中には複式学級となっている園もある。一見手厚い保育のようにみえるが、集団の中での育ちといった視点でみると職員が集団に入っていかなければ育ちあいがなかなかみられないこともあり、難しさを感じている。職員の中には自分たちが悪いんだろうかと考えてしまう職員もでてきているなかで、三豊市全体として保育施設・幼稚園施設がどの程度必要なのかということ再度検討していきたい。多く施設があることで選択肢は増えてきているが、財政面からの難しさもあるので適正規模について、検討していただけたらと思う。</p>

委員長	<p>全国的には、公立が撤退していっている自治体も増えてきている中で、幼稚園だけでなく、公立の意味をこれから考えていく必要があると思います。三豊市が公立の幼稚園などをどうとらえているのかといったこと、公立の意味が問われていくと思います。</p> <p>香川県に関しては公立の方がなんとなくレベルが高いんじゃないかとかいう感覚があるとは思われます。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
A 委員	<p>前回の会議の時に、幼稚園は増えると思った。預かり保育の無償化や給食の無償化などが決まったときに。実際は保育所へ流れた。理由をきいてみると、行事が多い、警報時に預かってくれない、預かりの時間が 18 時 30 分までみてくれないといったこと。幼稚園の指針と保育所の指針が違う。幼稚園であれば、表現であったりということが書かれている。先日幼稚園の発表会をみた。下高瀬幼稚園の話だが、3 歳児が 3 人では表現といった部分が難しい。幼稚園の良さといったことも残してほしい。幼稚園の何が負担になるかと保護者に聞いたら読み聞かせがあるとかといったこと。幼稚園の保護者もほとんど共働き世帯なので、行事の見直しをして欲しい。また、幼稚園でも来年度から 18 時 30 分まで預かり保育をするように財源をつけて欲しい。そのようにしていった中で幼稚園が減っていったら再度検討したらよい。できるだけ幼稚園を残すようにしてほしい。</p>
委員長	C 委員さんいかがでしょうか。
C 委員	<p>こどもが 2 人いるが、8 ヶ月から 2 人とも保育所へ預け、そのままなりの幼稚園へ通わせているが、幼稚園については詳しくはわかっていない。当たり前夕方まで預かってもらえる環境で子育てをしてきた。幼稚園の保護者も共働きが多いと思うので、少しでも長い時間預かってもらえるのであればこどもへの接し方も変わってくると思う。30 分でもひとりになる時間があるとうれしいと感じる。</p>
委員長	<p>幼稚園のありかたといったことが問われてきていると思います。</p> <p>他にありませんか。</p>
D 委員	<p>一番最初の会の時から考えると、幼稚園への危機感を感じていた。共働きの親御さんが多く、18 時には間に合わない方が多かった。その当時は早く迎えに来て欲しいという考えだったが、娘の子育ての様子を見てみると、仕事が終わって息つくひまもなく帰ってきて料理してという中で、言葉には出さないが早くしてというオーラが出ている。幼稚園の成り立ちはお母さんが働いておらず、教育のために預け</p>

ているというところが成り立ちだったが、生活様式も変わり、共働き世帯が多くなった。しかし、幼稚園は成り立ちからの考え方から変わっていない。

最初の会議のときは、適正規模・適正配置といったところから議論したが、このくらいだったら大丈夫だよなというなかで、1園に80人程度という議論だった。そのくらいだったら先生もひとりひとりに教育できるよなという内容だったが、生活様式が変わり、先生の考え方が変わらなかったというのが大きなデメリットだったと思う。お母さんが子育てに対して非常に不安を持っている。その不安をどういう風に解消してあげたらいいのかということも主任児童委員のなかで課題になっている。お母さんの生活によくむきあって話ができる場所としての保育所や幼稚園の数を考えていくうえで必要かなと考えている。

大阪では私立が人気があって公立は人気がない。私が勤めたのは630人規模の私立幼稚園だった。その中ではなかなかひとりずつ先生方がこどもと接したりというのはできていなかったが、良いところは私立はお金をもらって保育しているところだから、保護者のニーズに必ず応えていく。保護者がすごく不安だったら園長室へ呼んで話を聞くなどして関係性を築けた。公立は当たり前でこどもをみてあげているんだという意識があったように思う。私立のなにが良いかといったら、自分の本音を言える幼稚園、自分たちのニーズを受け入れてくれる幼稚園というので私立幼稚園はよかったのかなと思う。ただ、受け入れるだけではなく、先生の言い分も聞いてもらえる、そういう風な関係ができていたのかなと思う。公立との違いをひしひしと感じた。こどもまんなかだったらどうしたらいいのか、幼稚園が少しずつ減少しているなかで、幼稚園ってなに？幼稚園はどうしたらいいのか？というのがひしひしと感じている。

今、松崎幼稚園の評議員をしていて、保護者にとときどき会いに行くが、少ないけど親が真剣にとりくんでいると感じるし、こどものことを一生懸命みている。じゃあ保育所はって見ると、お母さん方の目が変わってきているのかなって。自分の仕事も大事だけど、こどものことも大事になっている。そのお母さんの気持ちをどういう風に汲んであげていったらいいのかって。幼稚園もそうだし保育園もそうだと思う。幼稚園は幼稚園としてのこどもの見方、お母さんとの接し方、幼稚園のこれからのありかた、どうしたら幼稚園として成り立っていくか、公立の幼稚園という立場としてどうしていくかというのは本当に大きな課題だと思う。

#### E 委員

こども家庭庁が設置されてこどもまんなか社会を打ち出されたがその中身が問題。保育所の指針、幼稚園の指針、こども園の指針がそれぞれあるが、就学前のなかで小学校就学前に望ましい10の姿というのは全部一緒である。こども園も保育所も幼稚園もすべて同じ中で同じ保育をやりながら小学校にいったときに戸惑わないような形を行っている。

以前は養護の面が大きかった保育所もずいぶん教育面がでてきているし、幼稚園も教育っていうところを言われていたが養護の面もずいぶんでてきた。内容的なところでいえば同じような取り組みをやっているというところが、保護者も感じてい

<p>委員長</p>	<p>るのではないか。なぜ幼稚園に行かなければならないのか、保育所へ行かなければならないのかというところでの自分たちが選んで、働くお母さんにとってはどこがいいのか、こどもにとってはどれがいいのかというのを考えながら選ばれているのかと思う。</p> <p>保育内容については公立私立なしに関係なく行っていると思うので、保育であったり教育であったりというところに変わりはないと思う。国をもとにこども園を推奨した形になっているが幼稚園が入ってきていないのが痛いところだと思っている。そのところを検討しながら適正配置適正基準を決めていけたら。採用という点でいえば、幼稚園だと 1 学級に正規職員何名、会計年度任用職員何名と決められているが、保育所はそうではない。担任数は配置されているけれども、っていうところで職員間の疑問となっていていっていると思う。かといって保護者にとっては、会計年度任用職員も正規職員もなく保育の質が良いほうがいいに決まっている。三豊市から保育の魅力を発信してもらいながら職員配置だったりといったところを検討していただいたらいいかなと思う。</p> <p>公私関係なく三豊市として目指すべき保育を検討すべきといった内容だったかと思います。</p>
<p>審議事項②</p>	
<p>委員長</p>	<p>では次の議事に移ります。2.就学前教育・保育施設の規模と配置のあり方について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>&lt;就学前・教育保育施設の規模と配置のあり方&gt;  【資料③】により、以下を説明。  ・施設の規模と配置のあり方について説明</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等はございませんか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>曾保小学校で勤めている。曾保幼稚園は曾保小学校の教室を借りて幼稚園を開設している。資料をみると定員が 50 名とあるがこれは本当か。人数が増えてきたらすぐ下の幼稚園を返してくれると約束だったが、今年も小学校の 1 室を貸してくださいと話があった。なぜ幼稚園舎を使えないかと聞いたら、隣が崖で工事をしておらず危険だからと聞いている。</p>
<p>事務局</p>	<p>定員数については、もとの幼稚園舎の定員数を記載している。</p> <p>それから曾保小学校の 1 室で幼稚園をお願いしている件については、説明いただいた通り、園舎の裏手側が急傾斜となっており、小学校側の工事はすんでいるの</p>

	<p>で洪水がおきたときの心配はないけれども、幼稚園舎についてはその部分の改修ができていないのが現状である。</p> <p>小学校の統廃合の際に、幼稚園の所管が教育委員会であった状態の中で、仁尾全体の小学校の統廃合の計画の中で、改修とあわせていろいろな協議が行われたと伺っている。その中で、曾保小学校までは工事をしたけれども幼稚園側については行われなかった。その後現在に至り、現状危険であるからということで、市上層部とも協議した中で使用しないと決定した。</p> <p>委員ご質問の人数が増えたら幼稚園舎が使用できるかということについては、市の方向性としては園舎を復活するとなると後ろの工事がついてくる、そういうことは現状厳しいということで難しい。</p> <p>募集定員については、次回ご報告する。</p>
委員長	いかがでしょうか。
G 委員	<p>施設を利用する側として発言する。今日参加して幼稚園、保育園、こども園で違いがあるというのを知った。利用する側としては見てくれる時間が何時から何時までか、夏季の夏休みはどうなるか、など一日フルタイムで仕事して、朝 7 時半に預け、一番最後に迎えに行くようになっている。夫婦そろって移住してきておじいちゃん、おばあちゃんもいない、夫婦どちらかがこどもが調子が悪くなったら休んで様子を見る、そういった中で幼稚園にするか保育所にするかといったら、利用時間だけ。夏休みにお弁当をつくって持っていくか、給食が出るのか、こどもにとってもお弁当だったら親は好きなものを入れる、でも給食だったら嫌いなものも食べてくれる。幼稚園が 18 時 30 分まで見てくれることになれば保護者はああそうかと選択肢になるかもしれない。保育所と幼稚園でそんなに内容に差があるとは思ってなくて、小学校 1 年生のラインではみんな同じことからのスタート。私自身は家庭教育が一番だと思っているので、家庭である程度教育してその補足を先生にしてもらっているという考えなので。ストレートにいうと土曜日の半日も利用しているので、先生には感謝しているし、すごいなあという一言。こどもが気持ちよく成長してくれる、いろんな視野を持ってくれるということが望み。今回参加させていただいた内容をこどもにも話ができたと思う。</p>
委員長	G 委員が通うこども園の 1 号認定児は何名か。
事務局	1 号認定児は 2 名である。
委員長	今回はハード面が主になりましたが、基本的にはこどもにとっていい環境はとい

	<p>う議論が重要だと思えます。ただ現実的には幼稚園が厳しいというのは全国どこをとっても同じです。今言われているのは 2 つ存在意義があり、1 つは配慮が必要なお子さんの受け皿となること、2 つ目が幼小連携を考えると、公立幼稚園がなくなると幼小連携がうまく進まないのではないか、そういう意味では幼稚園の存続意義があるといわれていることです。一方で保護者のニーズとは少しずれるといったところをどうすり合わせていくかが難しいところだと思えます。</p> <p>他には何かございますか。</p> <p>次回以降は具体的な内容になると思えます。</p> <p>事務局へお返しします。</p>
<p>6. その他</p>	
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の会議は 9 月 2 日(月)の 13 時 30 分から行いたいですが委員のみなさまのご都合はいかがか。また今後も委員会の事前に資料を送付する。</li> <li>・ この委員会の場では、時間も限られていることもあるため、いつでもかまわないので、お気軽に事務局までご質問、ご意見等をいただきたい。そういった意見を参考にしつつ、今後の方向性を決めていきたい。</li> <li>・ 今後の委員会は公開して行う。議事録を市 HP で公開する。委員の皆様の発言は、匿名とし、要約して掲載する。</li> <li>・ 今後、公立こども園と公立幼稚園の保護者に対し、アンケートを実施する予定。次回の会議にアンケート結果を報告させていただく。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>閉会にあたって、健康福祉部長の田中より、挨拶申し上げます。</p>
<p>事務局 (部長)</p>	<p>(あいさつ)</p> <p>委員のみなさまにおかれましては、委員の任をお引き受けいただきましてありがとうございます。また第 1 回目の会議にもかかわらず、熱の入ったご議論いただきましてありがとうございます。本計画は 10 年計画で、今回見直しの年ということでお集まりいただいておりますけれども、少子高齢化によりこどもの数も減少している中で、就学前教育・保育施設の規模と配置のあり方や職員配置のあり方というも避けてはとおれない課題と三豊市としても認識しています。今後のスケジュールでもご説明いたしましたが、4 回程度を考えておりますが、委員のみなさまはお忙しいとは思いますが、三豊市のすべてのこどもたちが安全に、質の高い教育・保育を受けることができる環境を整えていく必要があると考えておりますので、忌憚のないご意見をいただきながら、今後の会議をすすめていきたいと考えております。これから非常に暑くなってきましたけれども、委員のみなさまにおかれましては、ご自愛いただきますとともに、これからのご活躍を祈念いたしまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>

閉 会

事務局

それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了させていただきます。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。